

表 17 インターネットによる情報提供の実施について

表 17-1 保健所事業を紹介するホームページの開設

開設している	345 か所 (66.2%)
開設していない	169 か所 (32.4%)
記載なし	7 か所 (1.4%)

表 17-2 ホームページを開設した時期 (345 保健所)

1995-1997 年	7 か所 (2.0%)
1998 年	20 か所 (5.8%)
1999 年	26 か所 (7.5%)
2000 年	65 か所 (18.8%)
2001 年	81 か所 (23.5%)
2002 年	76 か所 (22.0%)
2003 年	7 か所 (2.0%)
記載なし	63 か所 (18.3%)

表 17-3 ホームページ内の HIV 関連サイトの設置 (345 保健所)

設置している	175 か所 (50.7%)
設置していない	170 か所 (49.3%)

表 17-4 HIV 関連サイトの設置時期 (175 保健所)

1995-1997 年	4 か所 (2.3%)
1998 年	8 か所 (4.6%)
1999 年	10 か所 (5.7%)
2000 年	31 か所 (17.7%)
2001 年	42 か所 (24.0%)
2002 年	52 か所 (29.7%)
2003 年 (予定含む)	7 か所 (4.0%)
記載なし	21 か所 (12.0%)

表 17-5 ホームページ「HIV 検査・相談マップ」の周知度

見たことがある	211 か所 (40.5%)
知っているが見たことがない	116 か所 (22.3%)
知らない	191 か所 (36.7%)
記載なし	3 か所 (0.5%)

図1 昼間のHIV検査受付状況

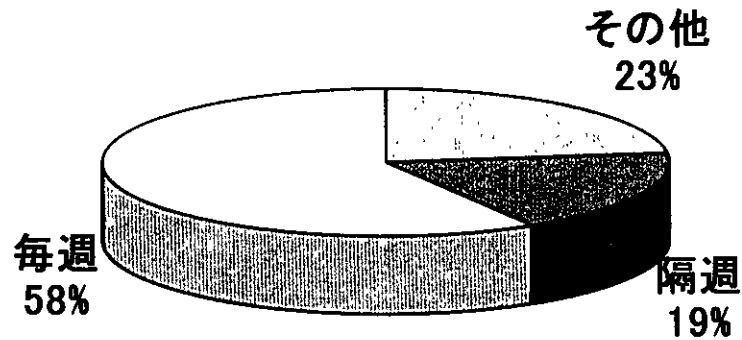


図2 昼間の時間帯での1日当りの受付時間数

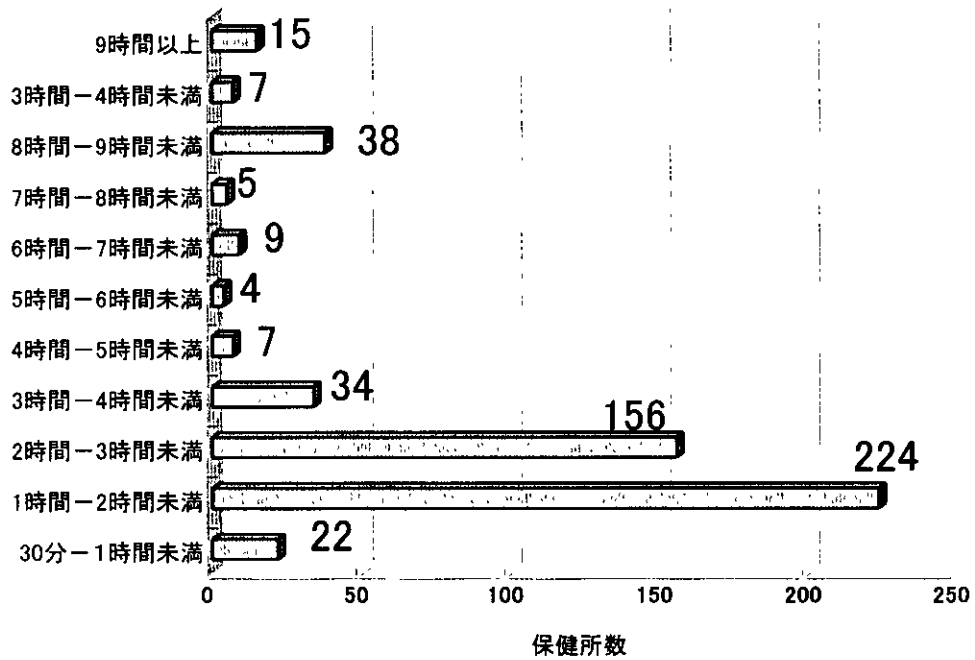


図3 昼間のHIV検査受付時間帯

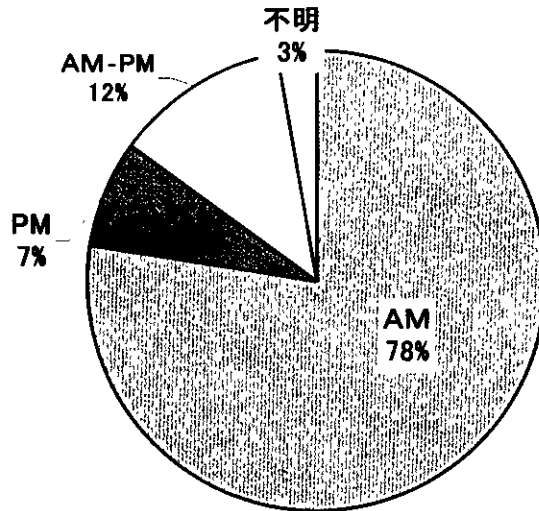


図4 昼間のHIV検査受付の割合

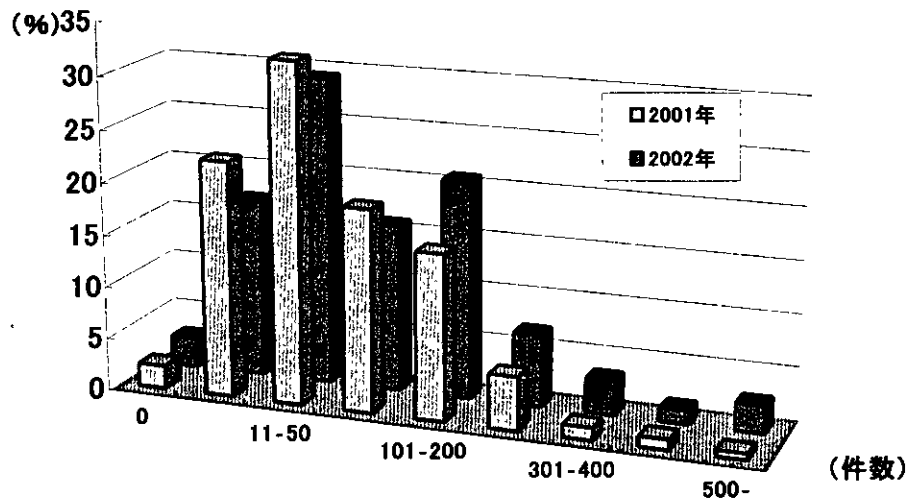


図5 土日のHIV検査受付の割合

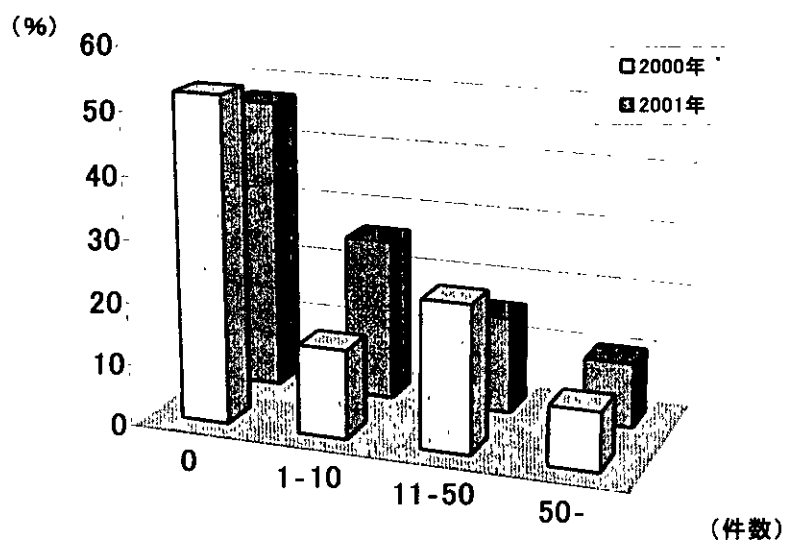


図6 年間平均HIV受付け件数

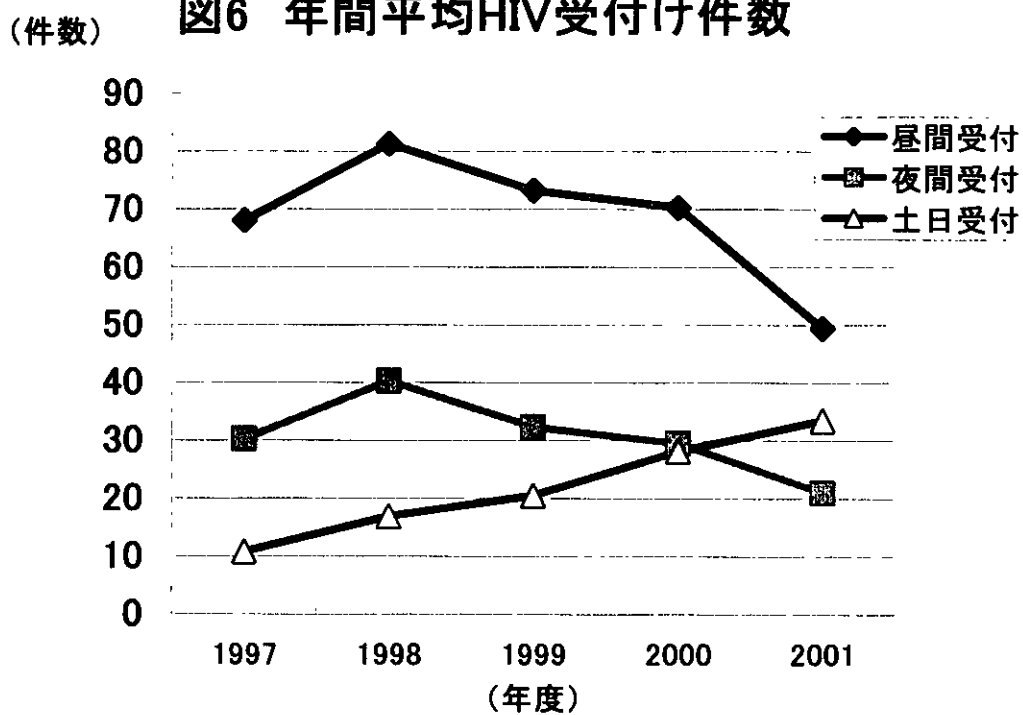


図7 HIV検査同時のSTD検査の実施状況

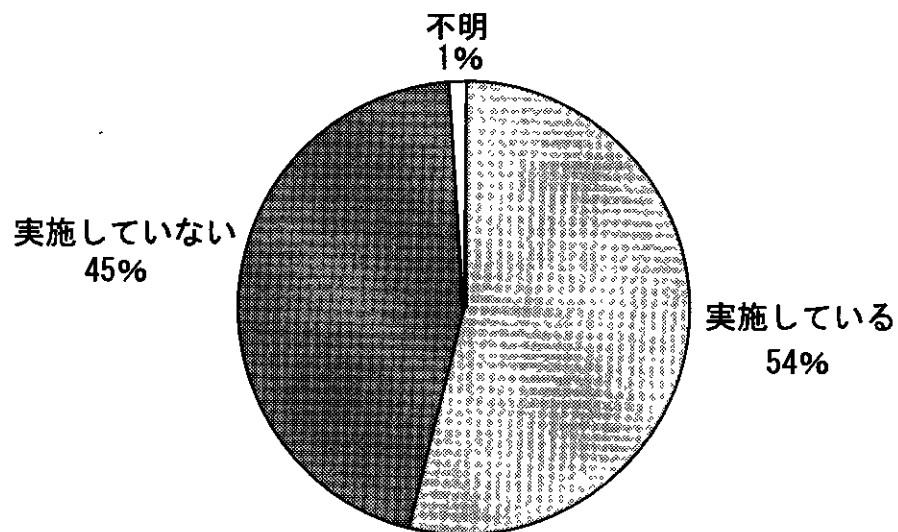


図8 STD検査の実施状況

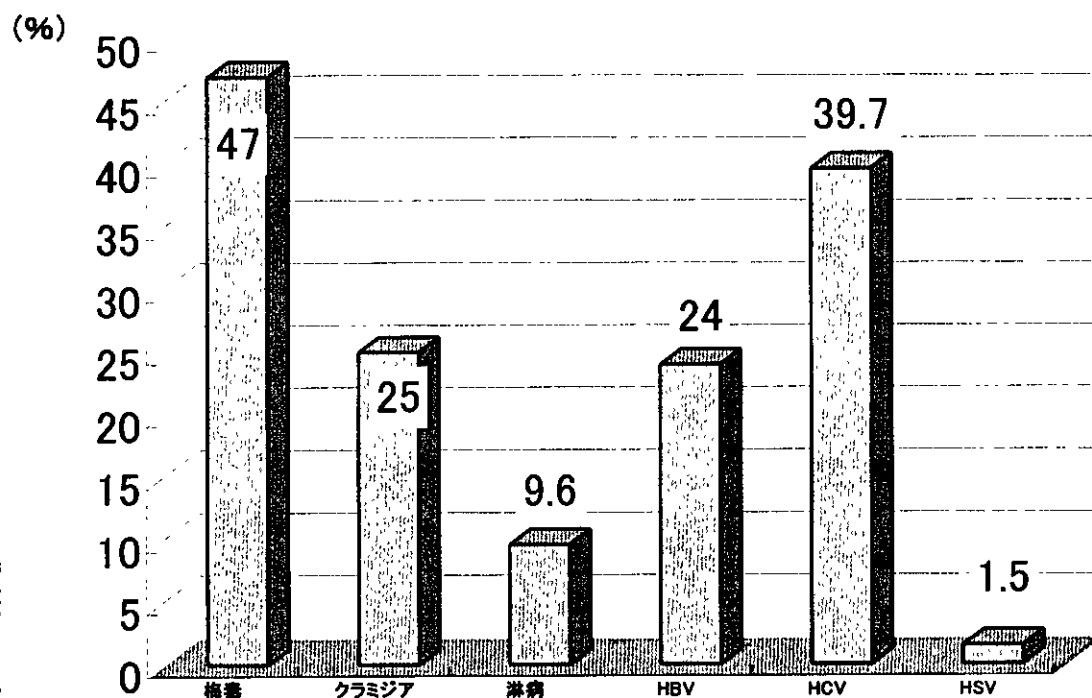


図9 HIV検査件数当りの未告知の割合

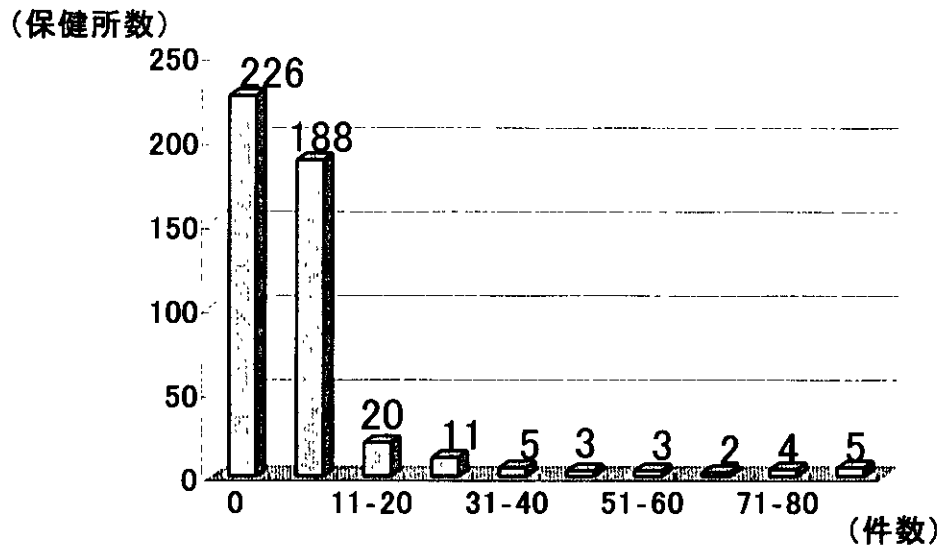


図10 説明相談の1人当りの所要時間

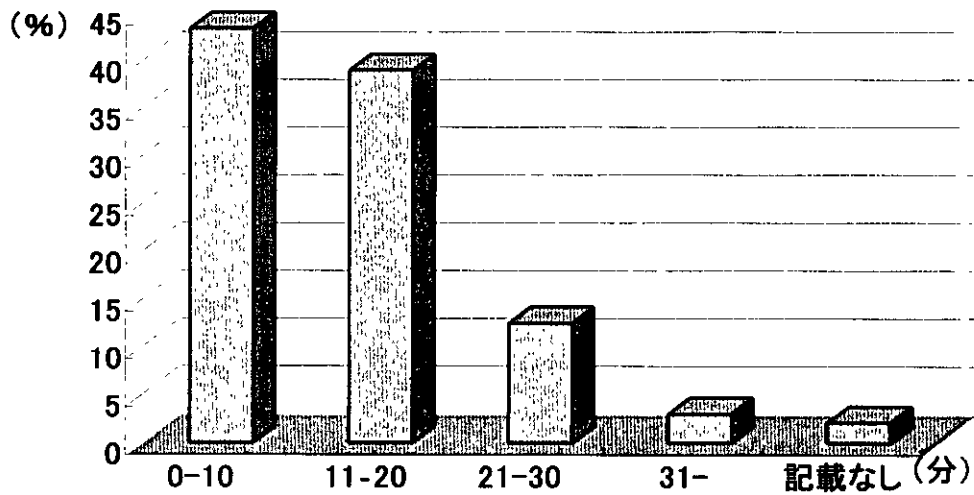


図11 説明・相談実施方法

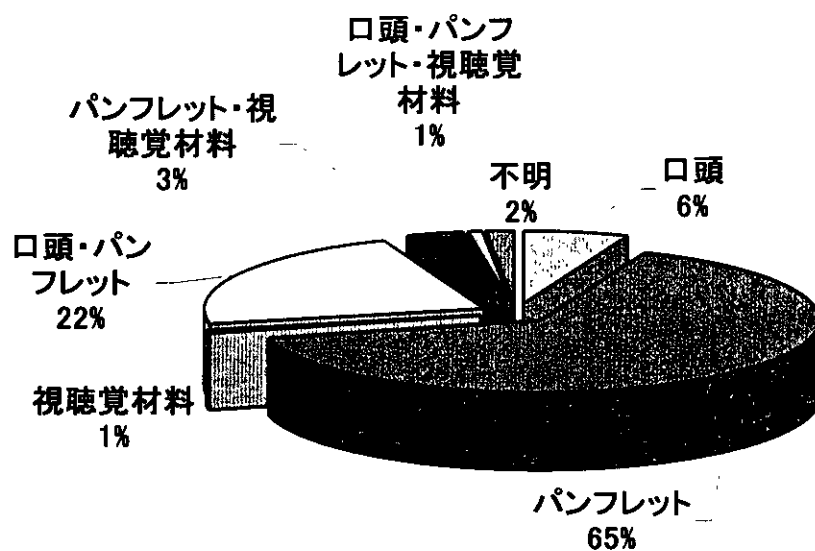


図12 HIV検査の説明相談担当者

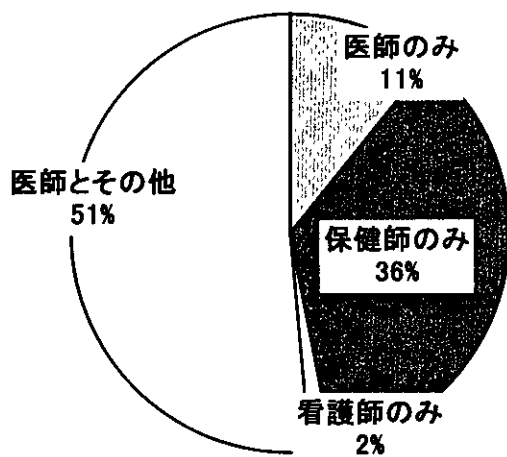


図13 感染からHIV検査までの推奨期間

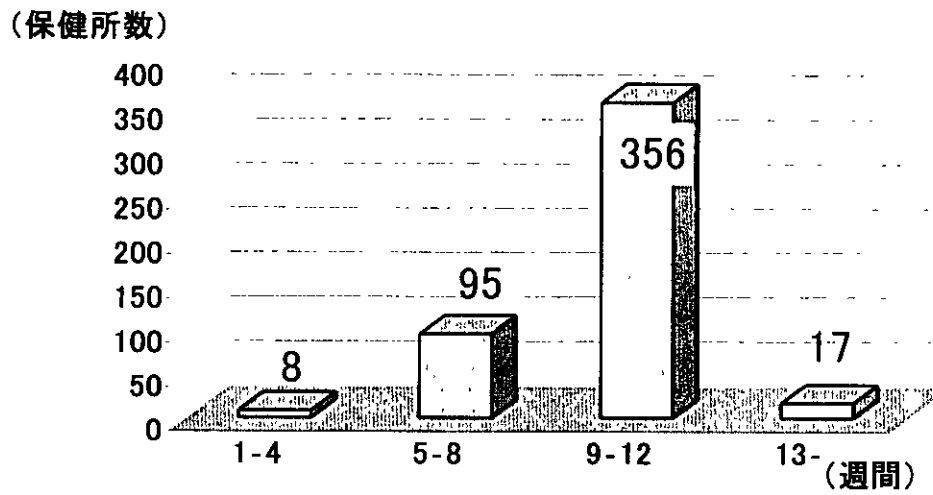


図14
推奨時期に該当しない場合のHIV検査
受け入れの問題点

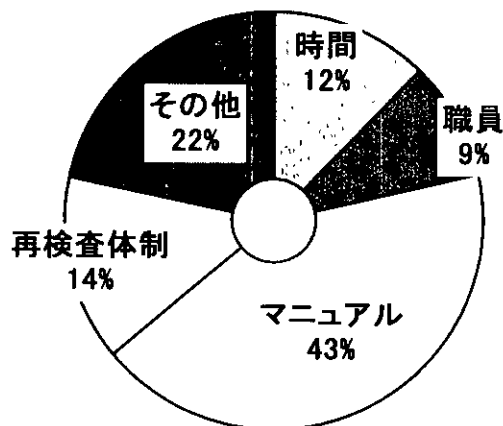


図15 迅速診断法(イムノクロマト法)の周知

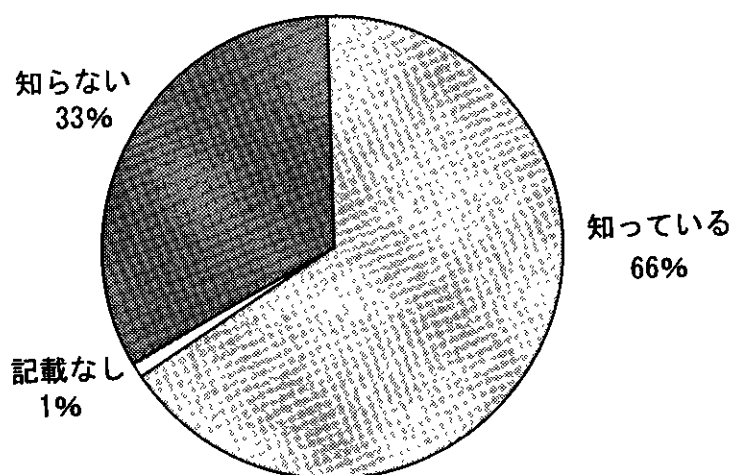


図16 早期発見及びケアにはたす即日結果返しの有効性

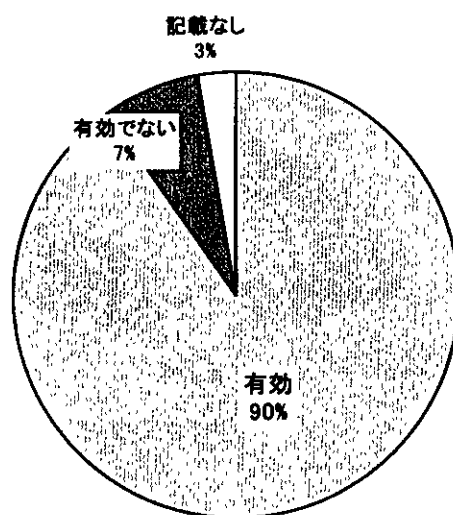
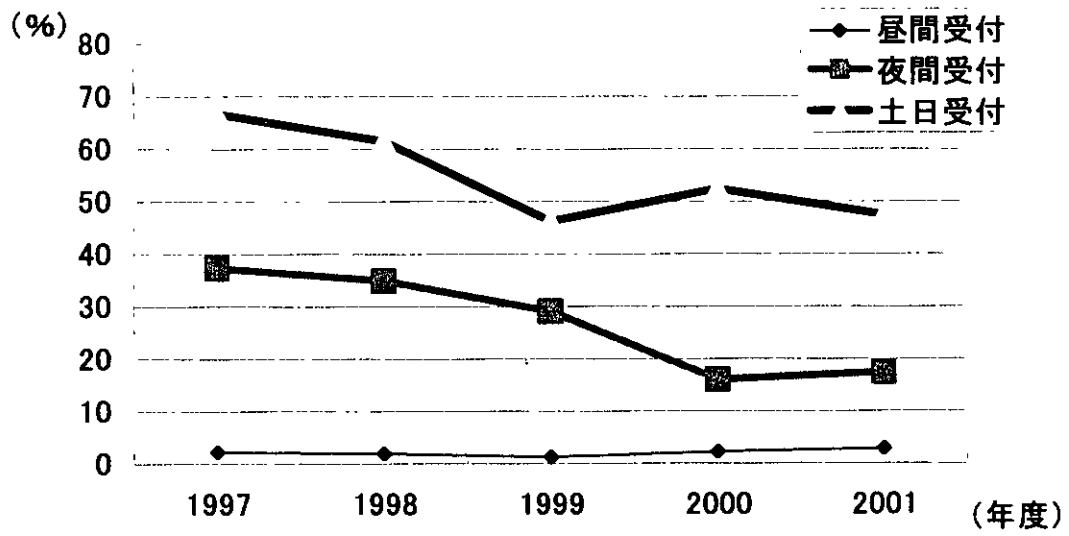


図17 HIV検査0件の保健所の割合



各保健所へのアンケート用紙

I HIV検査についてお伺いいたします。

A	A	I
---	---	---

1. HIV検査受付日時を教えてください。また土日・夜間検査の受付を行っているか該当するところにvを記入してください。
 なお行っている場合には、別個にご記入をお願いします。

①検査受付時間帯が昼間の場合

受付日 毎週・ 隔週 (月 回)

曜日 日 月 火 水 木 金 土

受付時間 時 ~ 時

②夜間及び土日検査の実施は

定期的実施している。 年に数回行っている。 行っていない。

・土日検査受付されている場合

受付日 毎週・ 隔週 曜日: 土 日 (月 回)

受付時間 時 ~ 時

・夜間検査受付されている場合

受付日 毎週・ 隔週 (月 回)

曜日 日 月 火 水 木 金 土

受付時間 時 ~ 時

・年数回実施している場合

回

2. 検査は予約制ですか？該当するところにvをつけてください。

はい いいえ

3. HIV検査件数についてお教え下さい。(件)

なお検査受付を昼間、土日及び夜間で分けて、別個にご記入をお願いします。

*検査受付が昼間の場合

	HIVの検査数	陽性件数
・平成9年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
・平成10年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
・平成11年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
・平成12年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
・平成13年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>

○平成13年度のHCVの検査数

*検査受付が夜間の場合

	HIVの検査数	陽性件数
・平成9年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
・平成10年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
・平成11年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
・平成12年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
・平成13年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>

○平成13年度のHCVの検査数

* 検査受付が土日の場合

	HIVの検査数	陽性件数				
・平成9年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<table border="1"><tr><td>A</td><td>A</td><td>2</td></tr></table>	A	A	2
A	A	2				
・平成10年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>				
・平成11年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>				
・平成12年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>				
・平成13年度	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>				

○平成13年度のHCVの検査数

4. 貴保健所での受検者の男女比は約どのぐらいですか。該当するところに✓をつけてください。
該当するものがなければ別個に記載してください。

男性:女性 = 1:1 1.5:1 2:1 3:1

上記以外の場合(男性:女性 =)

5. スクリーニング検査、確認検査はどこで実施していますか、該当するところに✓をしてください。

*スクリーニング検査	平成12年度	平成13年度	平成14年度
自保健所 -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他施設 衛生研究所 -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他施設 民間検査機関 -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他施設 他の医療機関 -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他施設 他の保健所 -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*確認検査	平成12年度	平成13年度	平成14年度
自保健所 -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他施設 衛生研究所 -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他施設 民間検査機関 -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他施設 他の医療機関 -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他施設 他の保健所 -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> -----	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6. HIV検査と同時にHIV以外のSTD検査実施の有無について該当するところに✓をしてください。

実施している
 実施していない

*「実施している」とお答えの方は7と8にお答えください。

7. 何の検査をいつから行っていますか。該当するところに✓をしてください。
また、その検査の開始時期をご記入ください。

<input type="checkbox"/> 梅毒	実施開始年月日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月頃
<input type="checkbox"/> クラミジア		<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月頃
<input type="checkbox"/> 淋病		<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月頃
<input type="checkbox"/> HBV		<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月頃
<input type="checkbox"/> HCV		<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月頃
<input type="checkbox"/> その他	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月頃

8. STD検査をHIV検査と同時に実施した場合、検査件数は変わりましたか。
該当するところに✓をしてください。

<input type="checkbox"/> 実施前より明らかに増加した	<input type="checkbox"/> 実施前より増加した
<input type="checkbox"/> 実施前と変わらなかった	<input type="checkbox"/> 減少した
<input type="checkbox"/> 明らかでない	

ここからすべての方にお伺いします。

9. 採血した日(他施設で検査を実施している場合は検体を引き渡した日)から
保健所担当者が検査結果を受けとるまでの日数をご記入ください。

・結果が陰性の場合	<input type="text"/>	日	または	<input type="text"/>	時間
・結果が陽性で再検査を行った場合	<input type="text"/>	日	または	<input type="text"/>	時間

10. 検査結果通知(検査を行ってから次回来所までの期間)は何日後ですか。

約 日後

11. HIV抗体検査結果を聞きに来なかったケースはどのぐらいですか。

年間 約 件

II HIV検査における説明相談体制についてお伺いします。

1. HIV検査の前後にどのような内容の説明相談を実施していますか。
該当するところに✓をしてください(複数回答可)。

<input type="checkbox"/> 全ての受検者にHIV・AIDSの一般的知識(病態等)及び検査内容について説明を行っている
<input type="checkbox"/> 全ての受検者にHIV検査について説明している
<input type="checkbox"/> 陽性時の対応と手順(紹介先含)について説明している
<input type="checkbox"/> 希望者についてのみHIV検査や陽性時の対応・手順の説明を行っている
<input type="checkbox"/> 不安感の強い人には検査前後重点的に説明相談に応じている
<input type="checkbox"/> 希望がなければ特に行っていない
<input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/>

2. 説明相談の実施方法とその所要時間を教えて下さい。

該当する実施方法にすべて✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 口頭のみ	<input type="checkbox"/> パンフレット等の使用
<input type="checkbox"/> 視聴覚材料の使用	
その他	<input type="text"/>

* 説明相談の1人当たりの所要時間 (約 分)

A A 4

3 説明相談は誰が担当していますか。
該当するところすべてに ν をつけてください。

- 医師 保健師
 看護師 精神保健福祉相談員
 臨床心理士 カウンセラー
 検査技師

その他

4 検査結果が陽性の場合、貴保健所では最大何箇所の医療機関やボランティア団体を紹介できますか。あるいは具体的に施設名/団体名を記載して下さい。

- ・医療機関の場合 .約 箇所 ()
・ボランティア団体等 .約 箇所 ()

Ⅲ HIV検査の受検時期についてお伺いいたします。

1. 貴自治体のHIV検査マニュアルに記載されているHIV検査の受検時期を教えてください。

感染した可能性がある時期より 日 または 週間後

2. もし検査希望者が貴保健所で明示しているHIV検査受検時期未満の場合、どのように対応していますか
該当するところに ν をしてください。

- 条件を満たしていないので、検査を受け付けない
 ウィンドウ期を説明し、現時点での検査は受け付けない
 ウィンドウ期と現時点での検査の意味を理解させた上で検査を希望するときは受け付ける
 そのまま検査を受け付ける

3. もしHIV検査受検時期未満の方が検査を希望され検査を受け入れる場合、何が問題とご思いますか(複数回答可)
該当するところに ν をしてください。

- ウィンドウ期とその時点での検査の意義及び再検査の必要性を説明する十分な時間的余裕がない
 ウィンドウ期とその時点での検査の意義及び再検査の必要性を説明できる職員が不足している
 具体的なマニュアルがない

その他

4 HIV検査の受検時期に関する記載についてお伺い致します。

「原則として、最近の検査法では通常1ヶ月後には抗体が陽性となることより感染のリスクがあつてから3ヶ月(2ヶ月)以前に検査を受けたい希望があれば、3ヶ月(2ヶ月)後に再検査を受けることを前提として希望があればその前でも検査を受けられる」という考え方についてどのようにお考えです 該当するところに ν をしてください。

妥当である 妥当ではない

Ⅳ HIV迅速診断法を用いた即日結果返し(即日結果返し)についてお伺いいたします。

HIV迅速診断法とは?

「HIV迅速診断法」とは、原理としてイムノクロマト法を用いた15分で結果判定が可能なHIV抗体スクリーニング検査法です。キットの性能(検出感度、特異性)は、現在使用されているPA法、EIA法等とほぼ同等で、スクリーニング検査キットとして認可されており、スクリーニング検査への使用には特に問題はありません。

即日結果返しとは?

「即日結果返し」とは、HIV検査希望者に結果を即日返却する方法です。結果が陰性の場合には即日結果を返却して完了です。結果が陽性の場合には、受検者に確認検査が必要なことを伝え、1週間後に再度、検査結果を聞きに来て頂くこととなります。

以下の質問に対して 該当するところに ν をしてください。

1. 迅速診断法(イムノクロマト法)をご存知でしたか

はい いいえ

2. 検査希望者にとって即日結果返しは通常検査(1週間後の結果返し)に比べより受けやすい検査であると思いますか

<input type="checkbox"/> 非常に受けやすい	<input type="checkbox"/> 場合によっては受けやすい	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> 5
<input type="checkbox"/> 受けやすくない	<input type="checkbox"/> あまり受けやすくない			

3. HIV感染者の早期発見・早期ケアの観点から考えて、即日結果返しは有効な方法と思いますか

<input type="checkbox"/> 非常に有効である	<input type="checkbox"/> ある程度有効である
<input type="checkbox"/> あまり有効でない	<input type="checkbox"/> 有効ではない

4. HIV感染の拡大防止・感染予防の観点から考えて、即日結果返しは有効な方法と思いますか

<input type="checkbox"/> 非常に有効	<input type="checkbox"/> ある程度有効
<input type="checkbox"/> あまり有効ではない	<input type="checkbox"/> 有効ではない

5. 保健所で即日結果返しを導入した場合、検査希望者数は増加すると思いますか

<input type="checkbox"/> 非常に増加する	<input type="checkbox"/> 少し増加する
<input type="checkbox"/> あまり変わらない	<input type="checkbox"/> 減少する

6. 貴保健所では即日結果返しを導入した方が良いと思いますか

<input type="checkbox"/> 実施すべきである	<input type="checkbox"/> どちらかといえば実施したほうがよい
<input type="checkbox"/> どちらかといえば実施しないほうがよい	<input type="checkbox"/> 実施すべきでない
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	

7. 貴保健所では即日結果返しの導入が可能だと思いますか

<input type="checkbox"/> 現段階で可能	<input type="checkbox"/> 条件が整えば可能
<input type="checkbox"/> かなり困難	<input type="checkbox"/> 不可能

8. 貴保健所で即日結果返しを導入する場合、どのような条件が必要と考えますか

<input type="checkbox"/> 国の方針
<input type="checkbox"/> 自治体の方針
<input type="checkbox"/> 即日結果返しの具体的な検査、相談マニュアルの提示
<input type="checkbox"/> 検査技術の習得
その他 <input type="text"/>

9. 即日結果返しを実施する場合どのような機関で行うのが良いと思いますか(複数回答可)

<input type="checkbox"/> すべての保健所	<input type="checkbox"/> できるだけ多くの保健所
<input type="checkbox"/> 一部(都市部等)の保健所	<input type="checkbox"/> 特別(公的)検査相談機関
<input type="checkbox"/> 土日夜間等の実施機関	<input type="checkbox"/> 病院・クリニック
<input type="checkbox"/> 必要ない	

10. 現在民間STDクリニック(全国9ヶ所)で即日結果返しを試験的に実施していることをご存知ですか

<input type="checkbox"/> ホームページ(HIV検査・相談マップ)を見て知っている
<input type="checkbox"/> 聞いたことがある
<input type="checkbox"/> 全く知らない

V その他

インターネットによる情報提供についてお伺い致します。

- (1)HIV-AIDS関連保健事業を含めて、保健所事業を紹介するホームページを開設していますか
該当するところに✓をしてください。 また開設されている場合はいつからですか。

はい いいえ 年 月頃から

- (2)保健所のホームページの中には、HIV関連サイト(エイズの一般的知識、検査、医療に関する情報提供)を特別にもうけて
いますか、該当するところに✓をしてください。 また設置されている場合、それはいつからですか。

はい 年 月頃から

いいえ

- (3)HIV検査・検査体制研究班が開設しているホームページ「HIV検査・相談マップ」([http //www.hivkensa.com](http://www.hivkensa.com))を
ご存知ですか 該当するところに✓をしてください。

知っており、見たことがある 知っているが、見たことがない

知らない

〈ご協力ありがとうございました。〉

〔本質問表に関する問い合わせ〕
宮崎 千佳(担当)、河原 和夫
東京医科歯科大学 医療政策学講座医療管理学分野
Tel: 03-5283-5863
FAX: 03-5283-5864

2. HIV 即日検査の導入等による効果と今後の課題

－NAT 検査の導入、ホームページ「HIV 検査・相談マップ」の開設も含め－

嶋 貴子 (神奈川県衛生研究所ウイルス部)	潮見重毅 (栃木県県南健康福祉センター)
西大條文一 (北新宿同仁斎メディカルC)	上村茂仁 (ペリネイト母と子のサテライトC)
小林米幸 (小林国際クリニック)	澤畑一樹 (三菱化学 BCL)
赤枝恒雄 (赤枝六本木診療所)	清水茂徳 (ライフ・エイズ・プロジェクト)
尾上泰彦 (宮本町中央診療所)	堀 成美 (東京都立駒込病院感染症科)
大國 剛 (大國診療所)	渡部享宏 (Campus AIDS Interface)
大里和久 (大里クリニック)	角田英久 (ライフ・エイズ・プロジェクト)
尾関全彦 (尾関皮膚泌尿器科)	大竹 徹 (大阪府立公衆衛生研究所病理課)
岩澤晶彦 (岩澤クリニック)	近藤真規子 (神奈川県衛生研究所ウイルス部)
保科眞二 (保科医院)	今井光信 (神奈川県衛生研究所ウイルス部)

研究要旨

全国の保健所におけるHIV抗体検査件数は年々減少傾向にあり、ここ数年はピーク時の半数程度となっている。その反面、保健所等検査機関でのHIV検査陽性数は増加傾向を示しており、その陽性者の多くは、夜間・土日検査といった利便性の高い特別HIV検査機関に集中していることが分かっている。現状のHIVスクリーニング検査体制をさらに強化するためにも、保健所の通常検査へ行きやすい体制作りが必要となっている。検査希望者にとって利便性が高く、より効果的なスクリーニング検査体制を確立するための試みとして、1. ホームページ「HIV 検査・相談マップ」の開設・情報提供、2. NAT検査の試験的導入、3. 即日検査の試験的導入を行い、効果等を調査した。「HIV検査・相談マップ」は、開設から1年7ヶ月間で40万件、現在では1日平均1000件のアクセスがあり、HIV検査情報を提供する媒体として有効に活用されていることが分かった。NAT検査は現在、全国20ヶ所の検査機関に試験的に実施しており、導入後は検査数の増加が見られた。感染不安者への対策、日赤のNAT検査へのマグネット効果の防止対策としても、主要地域毎に検査機関の設置を図っていく必要性が示唆された。即日検査は現在、全国のクリニック10ヶ所および保健所1ヶ所で試験的に実施しており、導入後は大幅な受検者数の増加が見られ、陽性率も保健所等検査機関と比較して高い傾向にあった。また「HIV検査・相談マップ」でのアクセス数解析、受検者へのアンケート調査からも即日検査に対するニーズの高さが確認された。しかし、現状の迅速診断キットは偽陽性率が約1%と他のスクリーニング検査キットに比べて高く、また検査希望者の受け入れから結果返しまでの時間が短いため、今後、実施検査機関を拡大していくためには、検査方法の説明、陽性時の対応等の実施マニュアルを作成する必要があることが分かった。

目的

検査希望者にとって利便性が高く、より効果的な HIV スクリーニング検査体制を確立することを目的として、以下のような取り組みを行った。

1. HIV 検査機関の詳細情報を掲載したホームページ「HIV 検査・相談マップ」の開設

および情報提供

2. 保健所等無料検査機関等への NAT 検査の試験的導入 (プール遠心濃縮法の開発)
3. HIV 迅速診断キットを用いた即日結果返し (即日検査) の試験的導入

これらについて、導入の効果等を調査するとともに有用性を検討した。

1. ホームページ「HIV検査・相談マップ」 の開設および情報提供

保健所等でのHIV無料検査や即日検査、NAT検査、イベント検査等、HIV検査に関する情報を詳しく、より多くの人に提供することを目的としたホームページ「HIV検査・相談マップ」(<http://www.hivkensa.com>)を2001年9月に開設し、情報提供を行った。今年度は新たに政令指定都市や即日検査実施機関等の掲載を行い、現在、全国主要都市を中心とした249機関について検査日時、地図等の詳細情報を掲載している(図1)。以下、アクセス数解析、利用状況アンケート調査、ホームページ紹介カードの作成、配布等について報告する。

①アクセス数解析

ホームページへのアクセス数解析を行ったところ、2003年3月の1日平均アクセス数は約1000件であり、総アクセス数は開設後1年7ヶ月で40万件に達した(図2)。開設当初(2001年10～12月)の1日平均アクセス数が400件前後であったことを考えると、アクセス数は約2.5倍増加したことがわかった。このことは当ホームページがHIV検査情報を提供する媒体として有効に活用されてきていることを示していると考えられる。

トップページにある5つのカテゴリー検索(保健所無料検査、夜間・土日検査、即日検査、NAT検査、性感染症検査)のアクセス数をカウントし、関心が高い検査方法について調べたところ、「即日検査」、「夜間・土日検査」が多くを占めていた(図3)。また検査機関の詳細ページアクセス数を調べたところ、即日検査、夜間・土日検査を行っている機関にアクセスが集中していることが分かった。これらのことから検査希望者にとって「即日検査」、「夜間・土日検査」のような利便性の高い検査に関心の高いことが示唆され、今後のHIV検査体制を考えていく上で、考慮していく必要があると考える。

②ホームページ利用状況アンケート調査

当ホームページ利用者の属性、アクセス理由等を調査することを目的として、2002年10月25日から11月13日までトップページ上にてホームページ利用状況アンケート調査を行った(回答数：931、期間中の総アクセス数：15386)(図4、図5、調査票：別添資料1-1、調査結果：別添資料1-2参照)。性別では男性が67%、女性が30%と男性の方が多く、年代別では10代が11%、20代が46%、30代が25%と比較的若い年代が多く利用していることが分かった。このホームページを知った手段では、「検索エンジン」からが54%、「他ホームページ」からが21%とほとんどがインターネット上から情報を得て、アクセスしていることが分かった。またこのホームページにアクセスした理由を聞いたところ、「HIV検査を受けたい」が40%、「HIV検査に関心がある」が37%とHIV検査についての情報を得るためにアクセスした人が多かった。アクセス回数について聞いたところ、「初めて」と答えた人が80%であった。アクセス数解析から見ると、直接ホームページにアクセスしている件数は、2002年10月で31%、11月で25%であり、若干、初めてアクセスした利用者が多く回答した傾向にあった。

ホームページ上でのアンケート調査は不特定の対象者に対して行うため、複数回答や内容の信頼性等の問題もあるが、今回のアンケート結果は利用者の属性、アクセス理由等を知る上で非常に参考になるデータであると考えられる。今後はさらに若年者へのアピール方法や利用者増加のためのホームページアドレスの広報、HIV検査に関する情報等の更なる充実を図っていくとともに、新たな利用者調査として、実際にHIV検査を受けた人に対し、検査法や検査機関についての意見等を聞く『フィードバックページ』の開設を行っていきたいと考えている。

③ホームページ紹介カード作成、配布

ホームページを広く紹介する目的で、ホームページアドレスとHIVに関する情報（HIVまとめ知識）を印刷したカード「HIV検査・相談マップ紹介カード」を作成し、配布を行った（図6、別添資料2-1）。配布する対象者に合わせて、HIVまとめ知識として4つのテーマ「①HIV抗体検査ウインドウ期説明カード」、「②コンドーム啓発カード」、「③性感染症の啓発カード」、「④女の子向けカード（緊急避妊と性感染症検査）」の作成を行った。また教育活動、啓発活動等でカードの配布を希望する人に対して、ホームページ上から申し込みができるエントリーページの開設、さらに予防啓発活動等の研修会で配布してもらえよう、フライヤーの作成、配布を行った（図7、別添資料2-2）。

今後は若年者、リスク対象者に対してのカード配布の充実や献血者向けのカード作成等を行い、さらに広くホームページを紹介していきたいと考えている。

2. 保健所等無料検査機関等へのNAT検査の試験的導入

1999年7月から日本赤十字社において献血血液の核酸増幅検査（NAT検査）を導入したことを受けて、HIV検査希望者の献血へのマグネット効果の防止対策の一環として、保健所等のHIVスクリーニング検査にNAT検査の試験的導入を試みた。保健所等へNAT検査を導入するに当たっては、スクリーニング検査で陰性であった検体をプールし、遠心濃縮することによって32検体までを1検体として測定する「プール遠心濃縮法」を開発し、検査コストを抑えて実施を行った。NAT検査は現在、保健所等検査機関7ヶ所、クリニック13ヶ所の計20ヶ所で実施している（図8）。神奈川県Y保健所においてNAT検査導入前後の検査数の推移を見たところ、導入後は検査数が約2倍に増加し、NAT検査のニーズの高さが認められた。

NAT検査は現在までに約15000検体について行ったが、まだ陽性検体は見つかっていない。日赤ではNAT検査を約1800万検体に実施し、6検体がHIV-NAT陽性であった（1/300万検体）。検査対象が異なることから一概に比較は出来ないが、クリニック検査機関でも感染初期陽性例（HIV-1 PA価：1000倍未満）が検出されるようになってきていることから（3. 迅速診断キットを用いた即日結果返し（即日検査）の試験的導入 参照）、さらに検査を継続し、動向を調査していきたいと考えている。また感染機会からより早い時期に検査を受けたいというニーズ、感染不安が強い人への対策としても、今後さらに、主要地域毎に検査機関の設置を図っていく必要があると考える。

3. HIV 迅速診断キットを用いた即日結果返し（即日検査）の試験的導入

保健所でのHIV検査希望者数減少の要因としては、検査日の多くが平日昼間、週1回であり、また検査結果を聞くために再度来所しなくてはならないことから、多くのHIV検査希望者にとって利用が難しいことが挙げられる。その問題点を解決するために、HIV迅速診断キットを用いて即日に結果返しを行う「即日検査（迅速検査）」の試験的導入を行った。現在、クリニック10ヶ所および保健所1ヶ所で実施しており、効果、問題点等について調査している。以下、即日検査実施の流れおよび問題点、クリニックでの即日検査実施状況、保健所での即日検査実施状況について報告する。

①即日検査実施の流れおよび問題点

HIV迅速診断キットとしては「ダイナスクリン・HIV-1/2」（アボットジャパン社、以下ダイナスクリンと略）を使用している。現在、日本において認可されているHIV迅速診断キットはダイナスクリンのみであるため、即日検査にはこのキットを使うことを前提とし、キットの検討等を行った。

このキットは原理としてイムノクロマト法を用いており、血清・血漿または全血を検体滴下部に50 μ l滴下(全血の場合はさらに展開液を一滴追加)後、静置し15分後に判定を行う。陽性の場合にはコントロールラインと判定ラインの2本の赤い線が出現し、陰性の場合にはコントロールライン1本のみが出現する(図9)。2001年に実施したキットの検討結果では、通常法でHIV陽性となった検体を測定したところ、感度は100%であった。またHIV抗体陰性検体を測定したところ、特異性は99.0%(偽陽性率1.0%)となり、他のスクリーニング検査キット(偽陽性率約0.3%)に比べ偽陽性率が高い傾向にあった。

通常検査と即日検査の流れを比較した図10に示した。通常検査では、スクリーニング検査実施後、受検者に1~2週間後に結果を返却している。スクリーニング検査が陽性であった検体については、その間に確認検査を実施し、確実な結果を受検者に報告している。即日検査では、スクリーニング検査後、結果が陰性であっても陽性であっても一度受検者に結果を報告する。陰性の場合には即日で結果返却が終了するが、陽性であった場合は確認検査が必要となり、1週間後に再度結果を聞きに来る必要がある。迅速診断キットの偽陽性率が約1%とかなり高頻度に見られること、またスクリーニング検査結果が陽性という結果知った上で、確認検査の結果を1週間待たなくてはならないことへの精神的不安等が問題点として考えられる。即日検査を実施するにあたっては、検査希望者受け入れから結果返しの時間が短いことから、検査機関側の対応(迅速診断キットの性質等の説明、検査方法、結果陽性時の説明・対応等)を整備していく必要がある。

②クリニックでの即日検査実施状況

2001年5月からHIV検査に理解のある都市部のクリニックと連携して、即日検査を

試験的に導入しており、2003年2月現在、全国10ヶ所のクリニックで実施している(図11、別添資料3-1(別紙1~3)、別添資料3-2参照)。またこれらのクリニックにおけるHIV検査情報はホームページ「HIV検査・相談マップ」上で紹介を行っている。クリニックでの即日検査数は2002年(9クリニック)では4553検体、陽性数は27検体(陽性率0.6%)となり(図12)、検査数は東京、大阪に次いで検査数の多い神奈川県(検査数5822:陽性数16、陽性率0.27%)や愛知県(検査数4429:陽性数16、陽性率0.36%)の保健所検査数に匹敵し、また陽性数、陽性率はそれらを上回っていることが分かった。また陽性例27検体中、感染初期陽性例(HIV-1 PA価:1000倍未満)が3例見つかってきており、クリニックにおいて感染機会から早い段階で受検する例が増加していることが示唆された。これらのことから、クリニックでの即日検査はかなりの効果を挙げており、有効性も高いことが認められた。

一番早い時期から即日検査を実施しているクリニック1ヶ所での検査実施状況を示した(図13)。2002年12月までに2179検体の検査を実施し、うち確認検査数が31検体、陽性数が14検体(陽性率0.6%)、偽陽性数が17検体(偽陽性率0.8%)となり、このクリニックにおいても偽陽性率が若干高い傾向であった。受検者の性別は男性が85%を占め、年代別では20代、30代が86%を占めていた。陽性者は男性では30代が64%(7/11)、女性では20代が67%(2/3)であった。また女性のみ陽性率が1.1%と高い傾向を示した。

このクリニックの受検者に対して自記式アンケート調査を実施した(アンケート期間中の総受検者数:419、アンケート回答数:324(回答率75.5%)、調査票:別添資料3-3、調査結果:別添資料3-4参照)。